2026 年 11 月 16 日
株式会社 京王百貨店

店舗の魅力向上と、より一層の顧客支持の拡大を目指して「食とギフト」の領域を強化

11 月 26 日（木）に新宿店 8 階が第一弾リニューアルオープン

京王百貨店新宿店は、2027 年 3 月の完了を目途に、新宿店の 1 階・4 階・8 階を中心とした全館リニューアルを実施します。**「“ちょっといい”日常を叶えるデパート」をコンセプトに、食とギフトの強化による新しいライフスタイルを提案します。**

新宿駅は世界有数の乗降者数を誇るターミナル駅であり、観光客や近隣で働くビジネスパーソンなどから昼夜問わず食の需要が高い街といえます。一方で、当社の現状の食品売場の面積では、多様かつ旺盛な食のニーズに十分に応えきれていない状況がありました。新宿駅直結という立地の優位性と利便性を最大限に生かし、より多くのお客様にご利用いただける「食の拠点」を目指します。B1 階・MB 階・1 階・8 階と多層階にわたり食の展開が広がることで、想定外の商品との出会いや新たな発見をお楽しみいただけます。目的買いにとどまらない、館内回遊による楽しいショッピング体験の強化へとつなげます。

近年、食品催事の実施を見直す百貨店もある中、京王百貨店では 2025 年度に開催した 7 階大催場での食品催事の約 6 割の催事で前年比 20%超の売上高を達成しており、食品催事に対するお客様のニーズは、物価高の中でも根強いものになっています。そのため、「食品催事」を始めとする「食」に強い百貨店としての役割を一層果たしていく必要があると考えます。

また、コロナ禍以降、従来当社の売上高の主軸だった衣料品カテゴリの構成比が縮小する一方、「食」「趣味」「健康」といったカテゴリの売上構成比は拡大を続けています。こうしたお客様のニーズの変化を踏まえ、**リニューアル第一弾として 11 月 26 日(木)、新宿店 8 階に新規 4 ショップをオープンします。**新たな食品・雑貨ゾーンを「京王フードマーケット」として再編し、食品を軸にしたフロアへと生まれ変わります。

第二弾では、1 階の食品・ギフト領域を強化するとともに、4 階に大型ショップを展開します。さらに各階においても段階的に新ショップをオープンし、全館の MD 構成を再構築します。

■《改装第一弾》8 階改装のポイントと新ショップについて

8 階コンセプト：日本と世界の食品・雑貨が集まる、京王フードマーケット

地下の食品街とは異なるコンセプトで、お客様一人ひとりの趣味・嗜好に寄り添う食品ショップを集積した「京王フードマーケット」を、8 階売場の核とします。近年、当社において伸長している「食」の領域を 8 階にも拡充することで、上層階における回遊性の向上と滞在時間の拡大を図ります。また、7 階の大催場や趣味・雑貨売場との相乗効果を創出し、フロア全体の魅力向上につなげます。

《新規 4 ショップ》 マップ内の左から時計回りに
・アジア台湾物産専門店 台湾小集
・リアコ（REACO）
・ストックマート（stockmart）
・道＊結び



【報道関係のお問い合わせ先 TEL：03-5354-2855】 （株）京王百貨店 経営企画部（広報）

〈11 月 26 日（木）オープンの新ショップについて〉

●ストックマート





店舗面積：37 坪

輸入食品などの人気商品を小分けにし、購入しやすい容量・価格で販売する再販ショップです。

当社では、2024 年 10 月に初めて「ストックマート」の POP UP SHOP を展開して以降、計 4 回の POP UP SHOP を開催しました。特に 2025 年 12 月に開催した際には過去最高の売上を記録し、年末のパーティーや集まりに向けた惣菜・菓子などの需要の高まりが見られました。さらに、2025 年 3 月からは、B1 階食品街の冷凍ケースの一部および柱回りの一区画において、選抜商品を常設で展開してきました。

今回、本格的な常設ショップとして 8 階にオープンし、食品から生活雑貨まで約 700 種類を展開します。これまでの POP UP SHOP および地下食品街での売れ筋商品をベースに、食品を中心とした日用品・雑貨まで幅広く取りそろえ、お客様の日常に寄り添うショップを目指します。

●道＊結び 初出店





店舗面積：28 坪

全国の道の駅から選りすぐった食材や地域の魅力ある商品を展開いたします。1950 年創業の食品製造販売・卸売業者である「フレッグ食品工業株式会社」（（一社）全国道の駅連絡会の特定賛助会員）が展開する店舗です。惣菜・デザートなどの加工食品・郷土の調味料、冷凍食品、酒類、菓子のほか、地域の工芸などの雑貨も取り扱います。また、ショップの一角にはポップアップコーナーを設け、期間限定で特定の地域に焦点を当てた企画を展開します。オープン日からは、災害で甚大な被害を被った熊本県と石川県の道の駅の特集を予定しております。

京王百貨店ではこれまで、大催事場などで開催する物産展・工芸展を通じて、日本各地の優れた名産品をご紹介してきました。本改装を機に「道＊結び」を通じて、地域の生産者・名産品とお客様を日常的につなぐ架け橋としての役割を果たしていきます。

●REACO（リアコ） 百貨店初出店





店舗面積：40 坪

食品スーパーマーケット「食生活♥♥ロピア」などを展開する OIC グループのグループ会社、株式会社 REACO が運営するアジア食品・韓国コスメの専門店です。「リアルに恋する韓国ストア」をテーマに、人気のインスタントラーメンや菓子、冷凍食品、酒類、コスメなど、約 800 種類の商品を展開します。店内にはコスメのテスターコーナーやクレーンゲーム機などを設置し、韓国やアジアを旅しているような世界観を演出します。

近年、K-POP アイドルの SNS 投稿や韓国ドラマの人気を背景に、韓国で話題のアジア食品や韓国コスメへの注目が高まっています。特に韓国コスメは若い世代を中心に、手頃な価格帯でありながらトレンドを取り入れたデザイン性の高いパッケージが人気を集めています。

トレンドに敏感な 10～30 歳代の女性を中心に、性別・年齢を問わず幅広いお客様にご来店いただき、当社にとって新たな顧客層の獲得につながることを期待しています。

【報道関係のお問い合わせ先 TEL：03-5354-2855】 （株）京王百貨店 経営企画部（広報）

●アジア台湾物産専門店 台湾小集 百貨店初出店

店舗面積：5.4 坪

1998 年創業の同店は、「台湾のおいしいを、日本の日常に。」をコンセプトに、台湾をはじめとするアジア各国の厳選食材、冷凍食品、菓子、台湾茶、プーアル茶などを豊富に取りそろえる台湾物産専門店です。
小籠包、水餃子、ルーローハン、肉団子、イカ団子などの冷凍食品をはじめ、台湾総統府御用達のパイナップルケーキ、台湾本場のウーロン茶など、台湾の人気グルメを展開します。また、石鹸や生活雑貨など、暮らしに寄り添う商品も取りそろえます。
5.4 坪のコンパクトな売場ながら、約 300 アイテムを展開し、台湾を訪れたような気分を楽しめる店づくりを目指します。常設店のオープンに先駆け、11 月 19 日（木）から 24 日（火）まで新宿店 7 階大催場で開催する「台湾フェア」に初出店します。その後、常設ショップとして 8 階にオープンします。





■各階へ段階的に新ショップをオープン

●バンヤードストーム ［2 階］

9 月 11 日（金）オープン済み

2022 年度の 2 階改装でオープンした新規 14 ショップは、新たな顧客層の来店やフロア内の買い回りの活性化に寄与しています。2026 年度第 1 四半期における、2 階婦人服売場の 40～50 歳代のお客様による売上高は、前年比約 7%増となりました。「SPORTY」「HEALTHY」「EASY」をキーワードに、スタイリッシュでありながら快適で機能的な日常着を提案する「バンヤードストーム」の出店により、多様化するお客様のニーズに応える MD 強化を図ります。



●VANSAN ［8 階レストラン街］ 都内百貨店初出店

9 月 14 日（月）オープン済み

もっちりとした生パスタ、石窯ピッツァ、生モッツァレラチーズを使用したメニューなど、本格的なイタリア料理を提供するカジュアルイタリアンです。昼はファミリー層の憩いの場として、夜は女子会や歓送迎会などに適したバルとしてもご利用いただけます。店内にはキッズスペースも設けられているため、小さなお子様連れのお客様もゆっくりと食事をお楽しみいただけます。



●SABON ［1 階］ 新宿エリア百貨店初出店

11 月 5 日（木）オープン済み

1 階正面入口前の区画（以前はイベントスペースとして活用していた区画）に、ナチュラルコスメブランド「SABON」をオープンしました。30～50 歳代の次世代顧客の取り込みに加え、ジェンダーレスでギフト提案力の高いブランドをオープンすることで、より多くの一般のお客様や百貨店に親しみの少ない層の新規来店を促します。



●小樽茶房 ［4 階］ 都内初出店

11 月 5 日（木）オープン済み

北海道・小樽発の本格茶房が都内に初出店しました。旧寿原邸で展開したカフェの人気メニューを忠実に再現した抹茶スイーツ、北海道産の素材を使用したデザート、名物のにしんそばなど、北海道の味をお楽しみいただけます。店内には、小樽・北海道の歴史と文化に触れられるアート展示や物販コーナーも設けています。



【報道関係のお問い合わせ先 TEL：03-5354-2855】 （株）京王百貨店 経営企画部（広報）

■《改装第二弾》2027 年 3 月オープン予定の改装のポイント

1 階の改装について： 食とギフト提案の強化

新宿駅西口再開発に伴う周辺環境の変化に加え、コロナ禍以降、新しい文化催事や IP コンテンツを活用した催事を積極的に開催してきたことにより、新宿店の客層は大きく変化しています。

京王のカードを保有する組織顧客以外の一般のお客様や若年層の来店も増加し、客層の多様化が進んでいます。こうしたなか、京王百貨店が強みとする「食」のカテゴリを地下 2 フロアにとどめず 1 階まで拡大することで、さらなる新規顧客の誘致と、既存顧客の来店頻度向上、多層階での買い回り促進につながると考えています。また、食品売場に隣接して洋品雑貨を配置することでフロア構成を再編し、「心が伝わる」ギフトゾーンを新設します。
すでに 11 月 5 日(木)に化粧品売場に先行オープンした新ショップ「SABON」も、ギフト提案力の高いブランドの 1 つとして、1 階リニューアルの役割を果たしていくことを期待します。

食品の拡充においては、お客様から支持の高い「手土産」ニーズに応えるため、新宿地区初出店の店舗を含む、ギフト対応に適した洋菓子ショップ約 10 店舗を新たにオープンする計画です。駅直結の百貨店として、ギフト需要への対応を一層強化します。

4 階の改装について： ライフスタイル領域の拡充

4 階はこれまで、ミセス・シニア層を主な対象とした婦人服売場を中心に展開してきました。2021 年に「ユザワヤ」を 4 階に誘致した結果、コロナ禍における巣ごもり需要を背景とした趣味・手づくり需要の拡大に加え、編み物や「推し活」のブームもあり、従来には見られなかった年齢層のお客様の来店が増加しています。

2027 年 3 月の改装では、ユザワヤと同様に来店目的となる大型ショップを新たに展開し、さらなる新規顧客の来店促進と全館の回遊性向上につなげていく計画です。

大型ショップでは、生活雑貨を中心に、キッチン用品、ファッション雑貨、食品まで、暮らしに根ざした商品を幅広く取りそろえます。当社の特徴である「日常性の高さ」をより明確にし、肩肘張らずにご利用いただける百貨店としての役割を高めていきます。

1. オープン	**第一弾：2026年11月26日（木）**
	第二弾：2027年3月下旬予定
2. 場　　所	**京王百貨店新宿店　1階～8階**
	（改装による新店オープンの他、移設・リニューアルを含む）
3. コンセプト	**“ちょっといい”日常を叶えるデパート**

改装第二弾の詳細については、2027 年 2 月に改めてリリースでお知らせいたします。

【報道関係のお問い合わせ先 TEL：03-5354-2855】 （株）京王百貨店 経営企画部（広報）